



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第38週（9/19～9/25）【概要版】

令和4（2022）年9月30日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 手足口病は、3週連続で減少していますが、「例年と比べて多く」報告されています。
- 梅毒は、新たに3例の報告があり、累積報告数は昨年同時期と比べて約1.8倍の50例となりました。梅毒は、主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）<sup>i</sup>

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
手足口病	3.72	3.19	1.69		○		多	多		多			↑
感染性胃腸炎	1.47	1.72	1.17						↑	多	多	多	
RSウイルス感染症	1.25	1.39	0.75					多		多		多	多
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14	0.19	0.25					多					
ヘルパンギーナ	0.72	0.53	0.25				多			多			多

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
手足口病	<u>3.42</u>	3.19	2.23	1.58	0.26	<u>3.85</u>	<u>3.58</u>
感染性胃腸炎	<u>2.14</u>	1.72	<u>1.81</u>	1.42	<u>4.09</u>	1.08	<u>2.09</u>
RSウイルス感染症	<u>1.6</u>	1.39	<u>2.16</u>	1.38	1.35	0.53	<u>2.2</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>0.3</u>	0.19	<u>0.3</u>	<u>0.53</u>	<u>0.26</u>	<u>0.21</u>	0.16
ヘルパンギーナ	<u>0.8</u>	0.53	<u>0.55</u>	0.22	0.04	0.32	<u>1.18</u>



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	4	1	3						1	1		1
四類	レジオネラ症	0	2	1	○		1						
五類	梅毒	0	2	2	○	○	2						

i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。  
 ii. 警：警報発令、注：注意報発令  
 iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」よりも多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」よりも多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）  
 iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年第38週(9/19~9/25)【詳細版】

令和4(2022)年9月30日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

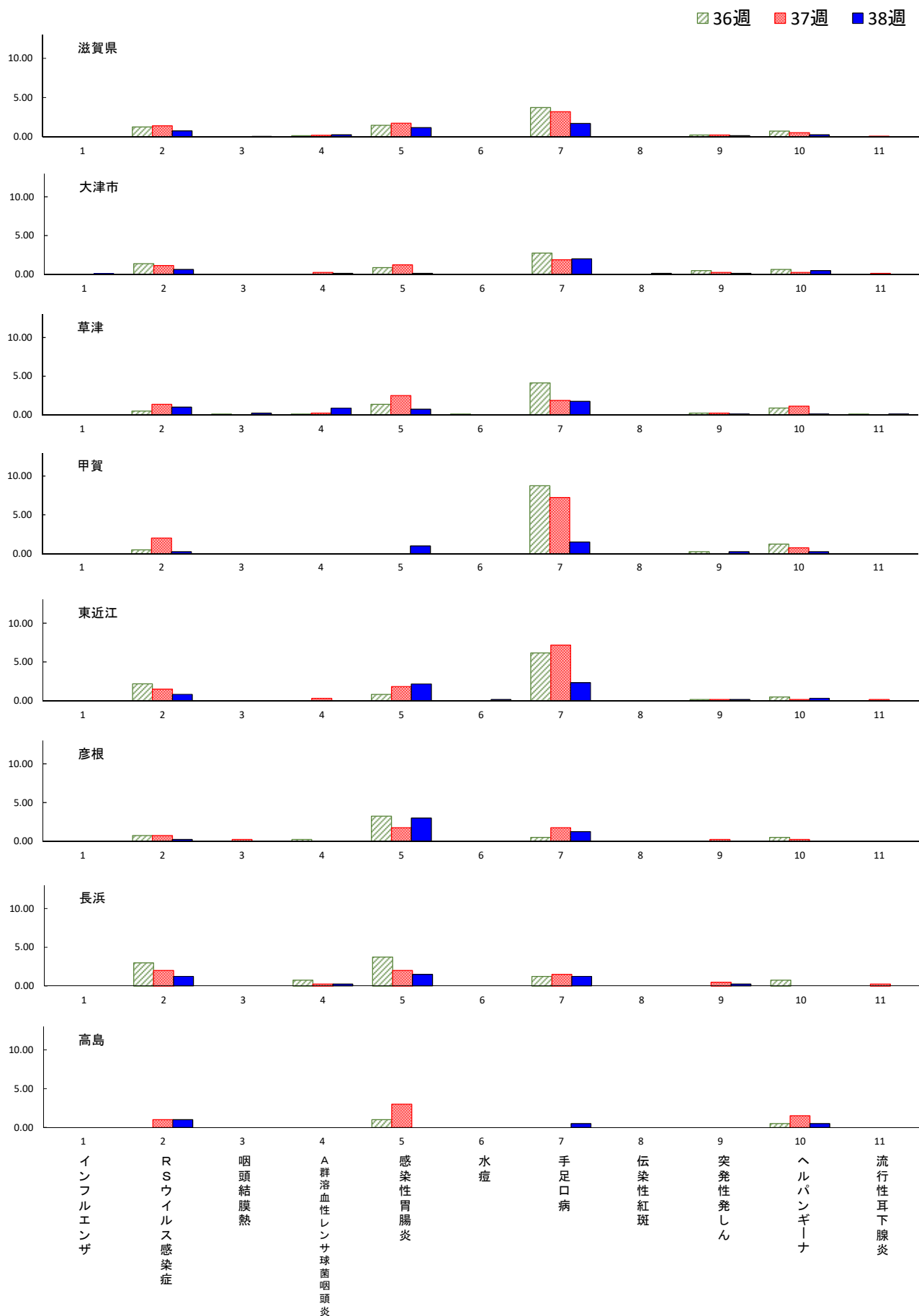
- (1) 手足口病は、3週連続で減少していますが、「例年と比べて多く」報告されています。
- (2) 梅毒は、新たに3例の報告があり、累積報告数は昨年同時期と比べて約1.8倍の50例となりました。梅毒は、主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週)の値<sup>i, ii, iii, iv</sup>

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別(iv)							全国 (前週) (iv)	基準値					
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江		彦 根	長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0	0	0.02				0.08	0	0	0	0	0	0	0.02	30	10	10
	RSウイルス感染症	1.25	1.39	0.75				0.63	1.00	0.25	0.83	0.25	1.25	1.00	1.60	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.03	0.03	0.06				0	0.25	0	0	0	0	0	0.07	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.14	0.19	0.25				0.13	0.88	0	0	0	0.25	0	0.30	8	4	-
	感染性胃腸炎	1.47	1.72	1.17				0.13	0.75	1.00	2.17	3.00	1.50	0	2.14	20	12	-
	水痘	0.03	0	0.03				0	0	0	0.17	0	0	0	0.07	2	1	1
	手足口病	3.72	3.19	1.69		○		2.00	1.75	1.50	2.33	1.25	1.25	0.50	3.42	5	2	-
	伝染性紅斑	0	0	0.03				0.13	0	0	0	0	0	0	0.02	2	1	-
	突発性発しん	0.22	0.22	0.14				0.13	0.13	0.25	0.17	0	0.25	0	0.27	-	-	-
小児科 (定点数:36)	ヘルパンギーナ	0.72	0.53	0.25				0.50	0.13	0.25	0.33	0	0	0.50	0.80	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0.03	0.08	0.03				0	0.13	0	0	0	0	0	0.04	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.23	8	4	-
	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14		○		0	0	1.00	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
基幹 (定点数:7)																		

- i. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- ii. 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. **赤字斜字**:警報開始基準を超過、**紫字斜字**:注意報基準を超過

### 3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



### 4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

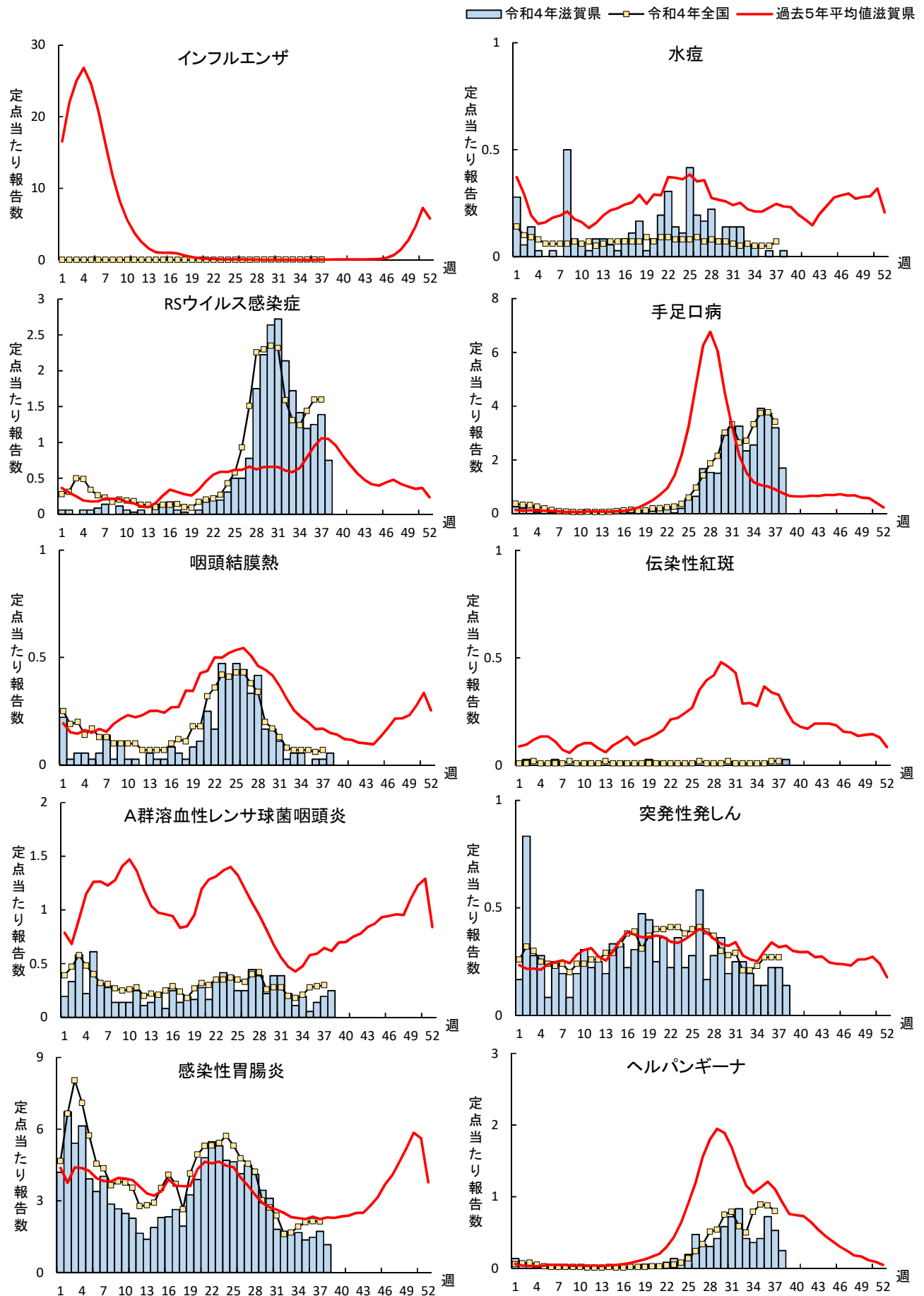
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	27	5	4	10	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	3
感染性胃腸炎	42	-	3	11	6	5	2	3	1	2	1	1	4	-	3
水痘	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	61	-	3	27	12	13	2	-	1	1	2	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	-	1	1	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

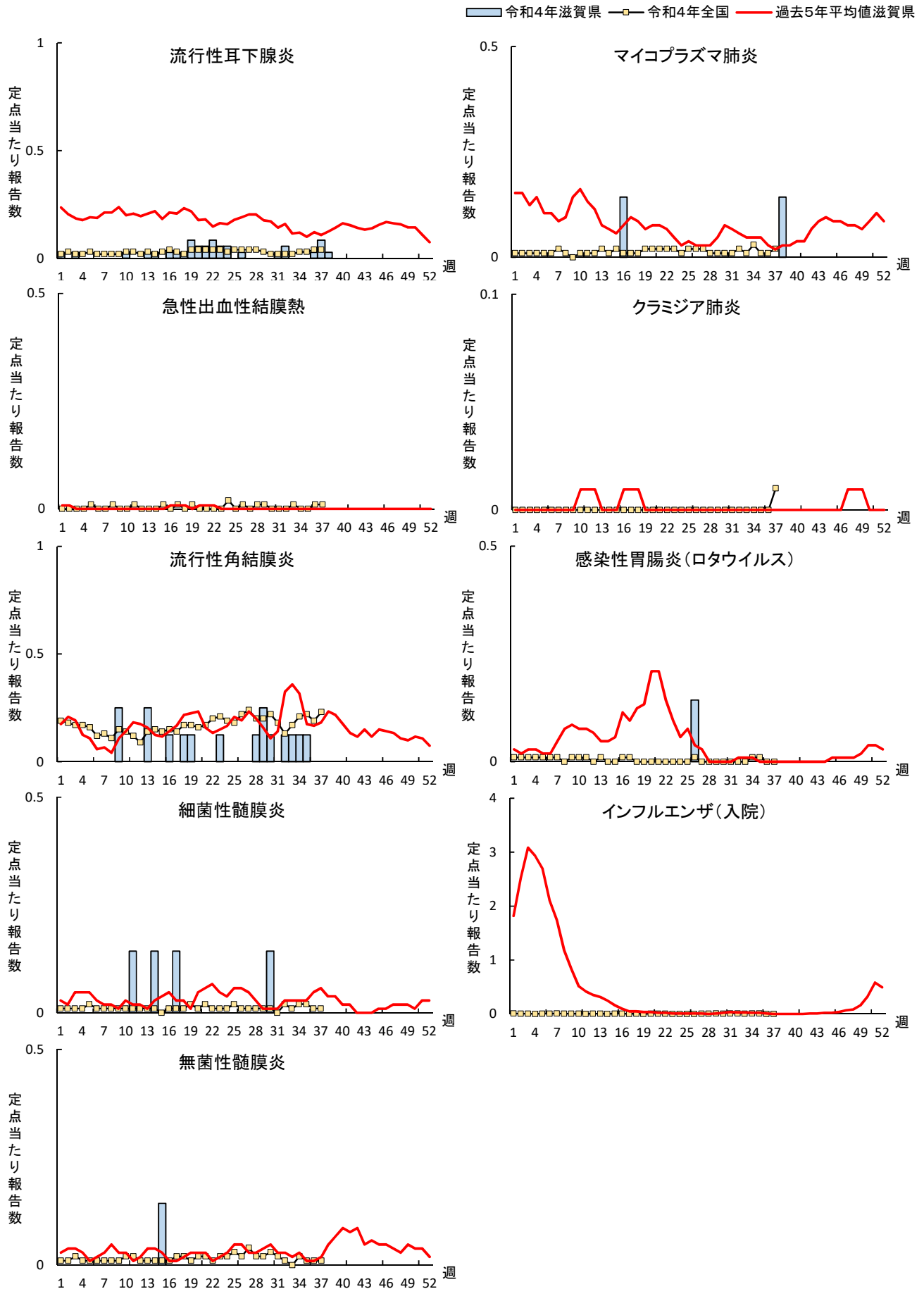
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

### 5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



## 5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）<sup>v</sup>

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	38	東近江	40歳代	男	肺結核	県内	-
	結核	38	彦根	80歳代	男	肺結核	-	-
	結核	38	高島	80歳代	女	肺結核	-	-
四類	レジオネラ症	38	大津市	80歳代	男	肺炎型	県内	-
五類	梅毒	38	大津市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	県内	-
	梅毒	38	大津市	70歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	県外	-
	梅毒	37	彦根	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	-	-

- v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

## 今週の注目すべき感染症

## ■ 梅毒

## (1) 梅毒に関する Q&amp;A(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

## (2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

## (3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年1月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

## ■ 新型コロナウイルス感染症

## (1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuhukushi/yakuzi/309252.html>

## (2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

## (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuhukushi/yakuzi/314006.html>

## ■ サル痘

## (1) 複数国で報告されているサル痘について(第2報)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2596-cepr/11266-monkeypox-ra-712.html>

## (2) サル痘について(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html)

## (3) サル痘とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

## (4) サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

### 7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）<sup>vi, vii</sup>

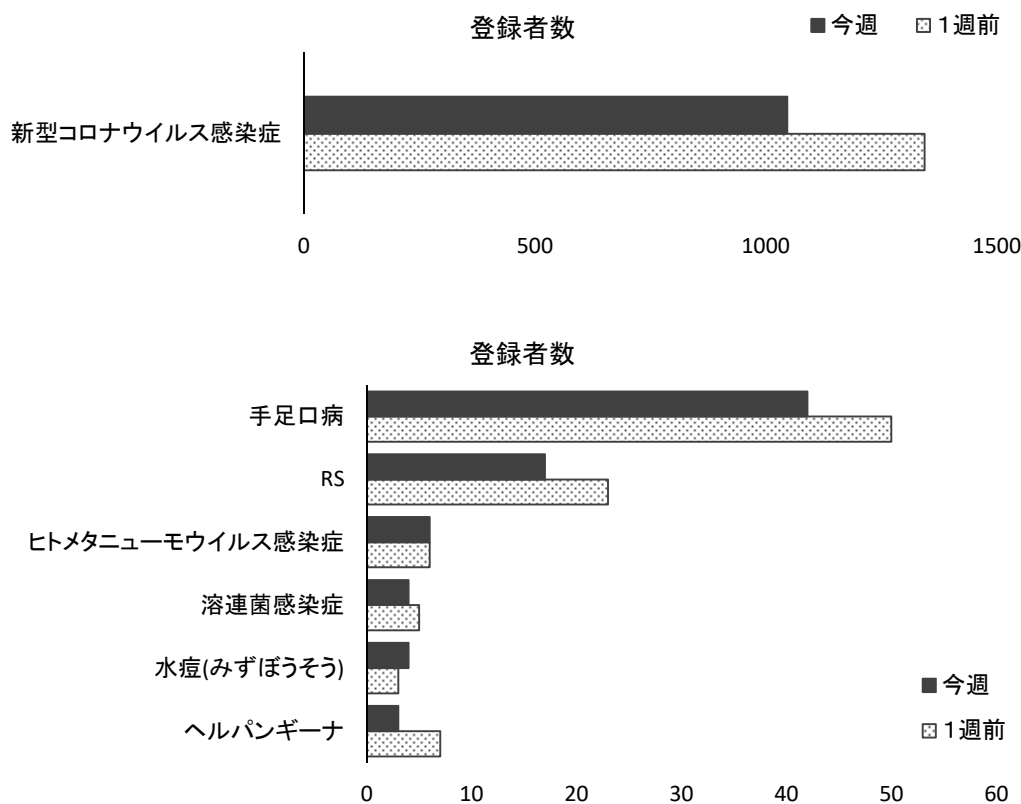
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類 結核			120	44	27	10	13	18	7	1	10346	169	15799
			8.50	12.84	7.77	7.03	5.75	11.65	4.66	2.18	8.24	11.95	12.52
三類 腸管出血性大腸菌感染症			37	13	11	4	4	1	3	1	2404	77	3220
			2.62	3.79	3.16	2.81	1.77	0.65	2.00	2.18	1.92	5.45	2.55
四類 レジオネラ症	○		26	6	2	2	3	8	5	0	1500	37	2112
			1.84	1.75	0.58	1.41	1.33	5.18	3.33	0.00	1.20	2.62	1.67
五類 アメーバ赤痢	○		6	3	2	0	0	0	1	0	379	5	529
			0.43	0.88	0.58	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.30	0.35	0.42
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		14	3	8	0	2	1	0	0	1245	25	2038
			0.99	0.88	2.30	0.00	0.88	0.65	0.00	0.00	0.99	1.77	1.62
クロイツフェルト・ヤコブ病			1	0	1	0	0	0	0	0	121	1	178
			0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.07	0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		11	3	6	0	1	0	1	0	529	12	646
			0.78	0.88	1.73	0.00	0.44	0.00	0.67	0.00	0.42	0.85	0.51
後天性免疫不全症候群			4	1	3	0	0	0	0	0	607	8	1047
			0.28	0.29	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.48	0.57	0.83
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	0	0	0	0	1	0	0	123	1	194
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65	0.00	0.00	0.10	0.07	0.15
侵襲性肺炎球菌感染症			13	5	3	1	1	0	3	0	852	16	1388
			0.92	1.46	0.86	0.70	0.44	0.00	2.00	0.00	0.68	1.13	1.10
水痘(入院例)	○		4	1	1	0	0	1	1	0	223	11	298
			0.28	0.29	0.29	0.00	0.00	0.65	0.67	0.00	0.18	0.78	0.24
梅毒	○	○	50	12	16	2	11	2	7	0	8746	46	7873
			3.54	3.50	4.60	1.41	4.86	1.29	4.66	0.00	6.97	3.25	6.24
播種性クリプトコックス症	○	○	2	0	0	0	1	1	0	0	101	0	159
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.44	0.65	0.00	0.00	0.08	0.00	0.13
百日咳			9	4	0	0	5	0	0	0	351	8	746
			0.64	1.17	0.00	0.00	2.21	0.00	0.00	0.00	0.28	0.57	0.59

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記



**【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）**

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム([https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view\\_all.php](https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php))へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

**【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。**

- 感染症発生動向調査 週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報 (IASR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告 (学校欠席者数) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

**【届出対象疾患】厚生労働省 HP に掲載されています。**

感染症法に基づく医師の届出のお願い  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html)

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」